

神田外国語大学で日本－メキシコ外交関係樹立 130 周年記念特別授業を開催

2018 年 7 月 10 日、東京

7 月 6 日、神田外国語大学は「Espacio Mexicano en KUIS」と題したメキシコに関する特別授業を開催しました。メインイベントとして、カルロス・アルマーダ駐日メキシコ大使による今年 130 周年を迎える日本－メキシコ外交関係をテーマにした講演が行われました。



200 人以上の学生を前に、アルマーダ駐日メキシコ大使は日本－メキシコ間の政治・経済・文化・協力関係の発展について説明したほか、困難な時期に如何に両国が団結して貿易・投資のつながりを強化してきたかについて強調しました。

参加学生らは、アルマーダ駐日大使ならびにメキシコやその文化・辛い食べ物・火山の伝説・グアナファト市といったテーマについてプレゼンテーションを行ったメキシコ人交換留学生らによる質疑応答セッションに積極的に参加しました。



その他にもメキシコ文化、カルロス・フエンテスやオクタビオ・パスの文学作品、日本ーメキシコの外交関係、メキシコ・スペイン語の言語的特徴に関する特別授業が行われました。

これらの特別授業にはグアナファト州観光大使やメキシコ大使館文化担当官をはじめ、様々な学者やジャーナリストらが参加しました。終盤には「メキシコ文化の夕べ」と題した文化イベントが開かれ、メキシコ伝統音楽や踊りが披露されたほか、メキシコの伝説をテ



ーマにした紙芝居や学生ら自作のピニャータ割り

が行われ、参加者らにはメキシコ料理が振舞われました。
